広報 環整連
題字は斎藤邦吉先生書

発行所
昭和48年3月14日
厚生省環第171号認可
全国環境整備事業協同組合連合会
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-17-17
アイオス永田町612号室
TEL (03) 6453-0607
FAX (03) 6453-0608

環境整備事業関係広報紙
【3月号】
本紙は一般廃棄物・浄化槽保守点検清掃・産業廃棄物等の取扱業者による全国団体の広報誌です。
会員・関係企業・官公庁・地方公共団体に頒布しております。

目次

1面…令和6年第4回理事会開く
2～3面…新年懇親会に与野党、関係団体等から来賓多数
6面…立憲、一廃処理議連が第10回総会

全国環整連

第4回理事会、令和7年新年懇親会開く

三本木徹氏の招聘や各委員会等活動を承認

全国環整連は1月30日、東京・一ツ橋の如水会館で令和6年度第4回理事会を開催した。各委員会や部会の活動、個人会員の加入、第49回全国大会（東京）等の報告を承認した。また理事会には厚生省環境整備課長などを歴任した三本木徹氏が出席し、今後の理事会や委員会等においても継続的に招き活動について意見を求めることとした。

理事会後は新年懇親会を開き、自民党・環境事業高度化議員連盟の細野豪志衆議院議員、立憲民主党・一般廃棄物処理議員連盟の馬淵澄夫会長など、国会、環境省、関係団体から多数の来賓が出席した。

冒頭で玉川福和会長は、「全国環整連は一般廃棄物を扱う業者の団体だが、廃棄物処理法や浄化槽法で定められた業務を適切に遂行できているかという疑問もいささか存在する。法的な解釈をめぐって環境省の歯切れが悪いという状況も続いているが、今回、自民党と立憲民主党に設置していただいた議員連盟に加え、国民民主党においても新たに議連を立ち上げることとなった。本日の理事会後の新年懇親会には多くの先生方の出席が予定されており、改めて一般廃棄物処理業が担う役割、私たちの責務を明らかにし、誇りが持てる仕事となるよう取り組んでまいりたい」と挨拶した。

理事会は、まず第一号議案「各委員会等活動報告」の審議に入り、財務報告として11・12月の収支一覧、旅費補助・旅費・宿泊費の支払明細、組合別賦課金入金状況を説明した。

次いで各委員会等の報告に先立ち、理事会に出席した三本木徹氏の紹介があった。三本木氏は昭和46年に厚生省（現・厚労省）入省後、産業廃棄物対策室長、環境整備課長、水道整備課長などを歴任し、平成13年に環境省出向（大臣官房付）。環境省退職後は日本環境安全事業（株）取締役、（公財）日本環境衛生センター常務理事、（公財）日本環境整備教育センター副理事長などを務めた。

三本木氏は「旧厚生省時代より廃棄物、あるいは浄化槽分野に携わってきた。本日ここにおられる皆様の先代、あるいは先々代よりさまざまな形でお世話になってきた。過去のことを申し上げれば、厚生省としてはまず人権、それから戦後復興においてひとり親方が多くいらっしゃって、こうした方々のお世話について、皆様方の先々代が地域に密着した形で行っていただいた。そして今、人口減少によって地域の維持ということが課題となった。今後、地域に密着した一般廃棄物処理業、そしてこの業務に携わる方々の過去の実績というものが注目されるようになると考えている。ぜひ地域の維持・発展のために引き続き取り組みを進めていただきたい」と全国環整連への期待の言葉を述べた。

三本木徹氏

その後、合理化適正委員会は、12月の会議と議連の動向、新潟県における現地支援状況を報告した。このうち全体会議では一廃処理業の許可区域に係る公正取引委員会の見解、各県の合理化事業の進捗状況等について情報共有を行い、議連については12月11日に衆議院第一議員会館で立憲民主党・一般廃棄物処理議連総会が開かれ、全国環整連より浄化槽の適正な維持管理の確保に向けた区域割りの重要性について説明したことを報告した。

水処理委員会は、維持管理のデジタル化導入支援に係る現地研修会、水再生優良事業者更新審査の開催状況を報告。また新たに浄化槽清掃料金の原価計算に取り組む方針を示した。近年の物価上昇や環境省通知「一般廃棄物処理業務における「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」等を踏まえた対応」を踏まえ、標準料金を算出し、適切な改定幅を提示することで、料金改定の支援を行うと説明した。

一方、国土交通省を中心に取り組みが進むウォーターPPPについても意見交換があり、全国環整連としては引き続き情報収集を行いつつ、当面は集合処理から個別処理へ切り替える自治体の増加を見据え、維持管理適正化等の取り組みに注力することとした。

また循環資源委員会は、11・12月に福岡県、和歌山県で開催してきた地域担当責任者会議で取り扱うガイドラインについて報告した。

広報部会は、広報環整連の編集・発行状況を報告。青年部会は、11月に実施した全体会議の内容と、2月21日に「浄化槽台帳の重要性」をテーマに沼津市において研修会を開くと報告した。

第2号議案「個人会員加入」は、北海道北広島市の協業組合エクセル三和の新規加入を報告した。

第3号議案「その他」は、10月30日に第49回全国大会の東京開催を決定したことを受けて、会場となるホテルニューオータニの宿泊について案内があった。

新年懇親会

浄化槽の適性管理へ与野党一致協力

国民民主党が新議連立ち上げを表明

令和6年度第4回理事会後は、午後6時から同会場にて新年懇親会を開催した。

冒頭で玉川会長は、「環整連は議員連盟を2党で結成していただいた。自由民主党の環境事業高度化議員連盟、立憲民主党の一般廃棄物処理議員連盟、そして今回、国民民主党も私たちの活動に賛同し、組織していただけることになった。議員連盟は何を目的とするのかということだが、私たちは業界に都合の良い法制度をつくっていただきたい、楽な仕事をしたい、そういう思いは一切ない。地域環境の保全のために厳正なルールを適用し、その中で一般廃棄物を安定的かつ継続的に処理するという使命が私たちにはある。今、このルールがいささか揺るぎそうになっている。この問題をご理解いただき、法に則った適正な業務が行えるよう制度を見直していただきたい」と呼びかけた。

次いで来賓挨拶があり、自民党の細野豪志議員は、「全国的に浄化槽の年1回の清掃が確保されていない状況があるが、岐阜県では独自の仕組みによって100%近い清掃率を確保している。そのノウハウを全国に展開するため自民党としても各党と連携しながらしっかり取り組んでまいりたい」と挨拶と呼びかけた。

立憲民主党の枝野幸男衆議院議員は「全国環整連の皆様が担っている仕事は国民生活のインフラを支える重要なもの。一方で国民の皆様の理解はいまだ十分なものではなく、皆様の事業環境改善に党として取り組みたい」と述べた。

国民民主党の古川元久衆議院議員は、公務のため挨拶前に退席した榛葉議員に代わり、「昨年の衆院選で我が党の衆議院議員は7人から28人となった。一般廃棄物処理は重要な業務であり、私どもも議連を結成し、党派を超えて事業環境の改善に取り組んでまいりたい」と考えを述べた。

乾杯の発声には立憲民主党の川内博史衆議院議員が立ち、「廃掃法、浄化槽法、公衆衛生の向上のため見直すべきところは見直す。今年1年皆様と頑張りたい」と呼びかけた。

その後も来賓祝辞が続き、環境省の角倉一郎環境再生・資源循環局次長は「昨年の能登半島地震では皆様に大変ご尽力をいただいた。本日ご出席の先生方のご指導もいただきながら、環境行政を進めてまいりたい」と感謝を述べた。

環境保全、一廃処理の重要性を訴える玉川会長

全国環整連　令和7年新年懇親会

令和7年新年懇親会に国会や行政から来賓多数

小池晃参議院議員
(共産)

古川元久衆議院議員
(国民)

枝野幸男衆議院議員
(立憲)

高市早苗衆議院議員
(自民)

仙田晃宏衆議院議員
(国民)

馬淵澄夫衆議院議員
(立憲)

細野豪志衆議院議員
(自民)

鈴木宗男参議院議員
(大地)

長谷川淳二衆議院議員
(自民)

石橋林太郎衆議院議員
(自民)

鈴木貴子衆議院議員
(自民)

宮内秀樹衆議院議員
(自民)

小宮山泰子衆議院議員
(立憲)

福山哲郎参議院議員
(立憲)

川内博史衆議院議員
(立憲)

末松義規衆議院議員
(立憲)

谷田川元衆議院議員
(立憲)

山崎誠衆議院議員
(立憲)

今井雅人衆議院議員
(立憲)

階猛衆議院議員
(立憲)

東克哉衆議院議員
(立憲)

横沢高徳参議院議員
(立憲)

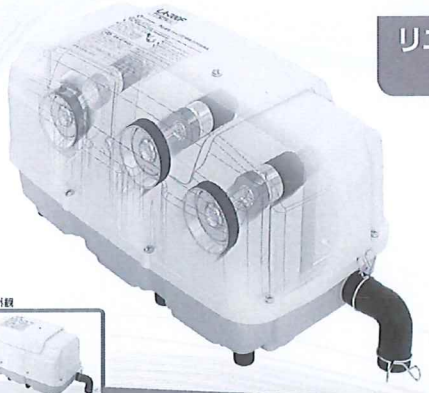
眞野哲衆議院議員
(立憲)

松田功衆議院議員
(立憲)

NITTO KOHKI

150L・200L ブロワがリニューアル

リニア駆動フリーピストン方式採用で
消費電力削減・高耐久を実現



製品外観

NEW
メドーブロワ®
LA-150F/LA-200F

低消費電力
最大約19% 消費電力を低減(当社比)
電気代節約、CO_2削減に貢献

長寿命
可動部品はピストンのみ
リニア駆動フリーピストン方式を採用

安心
サーマルプロテクタ搭載
異常加熱すると自動停止
(温度が下がると自動復帰)

メンテナンスが容易
フィルタ、ピストン交換は
ネジを緩めるだけの簡単作業

低作動音
屋外、夜間運転を考慮した静音設計

修理研修受付中／デモ機依頼お気軽に!　www.nitto-kohki.co.jp

技術で、人を想う。
日東工器株式会社

メドー事業部　リニア販売部
〒146-8555 東京都大田区仲池上 2-9-4　Tel:03-5748-5521　Fax:03-3754-0258

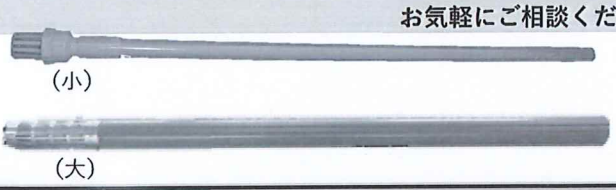
リニア駆動フリーピストン方式
メドーブロワ®
長寿命　突然停止しない　らくらくメンテナンス

ブロワ検索

特許取得（特許第7339689号）

担体快収～ふりわけ名人～ 好評発売中！

スリット管のみ購入OK！
お気軽にご相談ください。



（小）

（大）

作業効率UP

バキューム車
と併用使用

ステンレス製

商品説明

SEC 株式会社 昭和衛生センター

〒975－0038
福島県南相馬市原町区日の出町４９８番地
☎　0244－22－5134　fax　0244－24－5559
HP　https://showaeisei.co.jp

TOHO

臭気改善で住み続けられるまちづくりを

衛生車・吸引車の臭気対策に
デオマジック® VC1 オイル

DEOMAGIC® VC1 Oil

デオマジック®VCオイルは糞便臭を甘い香りに
変化させる潤滑油です。
作業者様や地域住民の皆様に大好評です。

- お 得！　脱臭剤が不要になります。
- 簡 単！　今お使いのオイルと同様に定期的な交換だけ。
- 新技術！　不快臭を取込んで良い香りに変える技術。

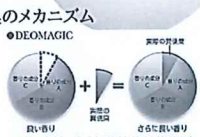
DEOMAGIC® VC1 Oil
デオマジック®VC1オイル

全国ネットの特装自動車の総合メーカー
東邦車輌株式会社

お問い合わせ先
東邦車輛株式会社 横浜部品営業所
〒230-0003
神奈川県横浜市鶴見区尻手3丁目2番43号
TEL: 045-575-5241/ FAX: 045-575-3271
Email：deomagic.vc1@shinmaywa.co.jp

香水は、何十種類もの香料の
成分をブレンドして完成します。

消臭のメカニズム



良い香りの「デオマジック」に不快な臭いが加わると、
さらに良い香りに変わります。

営業本部	TEL：045-575-9901	信越営業所	TEL：025-283-6571
直販部	TEL：045-575-9902	中部支店	TEL：052-218-5123
直販部直販課	TEL：045-575-9253	金沢営業所	TEL：076-223-1191
北海道支店	TEL：011-633-7101	近畿支店	TEL：0798-52-2100
東北支店	TEL：022-782-5040	東邦車輌サービス	TEL：072-433-2401
仙台部品出張所	TEL：022-782-5065	中四国支店	TEL：082-890-2882
北関東支店	TEL：0276-89-1551	九州支店	TEL：092-441-1951
茨城営業所	TEL：0298-22-5569	福岡部品営業所	TEL：092-441-0634
関東支店	TEL：03-3843-3351	南九州営業所	TEL：099-252-2070

MORITA × kao　共同開発　臭気・衛生対策製品

花王が開発した液をモリタエコノス独自技術で効率的に噴霧！

菌・ウイルス除去に

ミラクルキヨラV™

菌・ウイルスを９９％除去※
エタノール不使用で引火の心配なし！
※すべての菌・ウイルスを除去するわけではありません。

生ゴミ臭対策に

ミラクルキヨラ™

専用香料で不快な悪臭を爽やかな香りに！

ポンプオイルに添加するだけ！

不快臭対策に

ミラクルチェンジャー™

不快な悪臭を心地よい香りに変化！

環境保全車両の開発・製造・販売

株式会社モリタエコノス　Webサイトはこちらから

このQRコードはアクセス解析のためにCookieを使用しています。
アクセス解析は匿名で収集されており個人を特定するものではありません。
この機能はCookieを無効にすることで、Cookieを用いた収集を拒否することができます。
お使いのデバイスのブラウザの設定をご確認ください。
QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

溶存酸素計　DO計

ガルバニ式センサー交換タイプ

DO-11Z

測定範囲
DO　：　0.00～20.00mg/L
飽和率　：　0～200%
水温　：　-5.0～50.0℃

pH／ORP計

pH／ORP計　KP-11Z
pH計　KP-11F
計量法
型式承認
申請中

測定範囲
pH　：　0.00～14.00　pH
ORP　：　0～±1999mV(KP-11Zのみ標準)
温度　：　0.0～50.0℃

MLSS／界面計

MLSS／界面計　SS-10Z
MLSS計　SS-10F

測定範囲
MLSS　：　0～20000mg/L
水深　：　0.00～5.00m
(SS-10Zのみ)

塩素イオン計

測定レンジ自動切替機能付

CL-11Z

測定原理
固体膜塩素イオン電極法
測定範囲
：　0.1～2000mg/L

その他の営業品目
濁度計、色度計
UV式COD計、導電率計
溶存酸素計、採水器

KRK 笠原理化工業株式会社　https://www.krkjpn.co.jp

〒340-0203　埼玉県久喜市桜田2丁目-133-8　TEL.0480-38-9151(代)　FAX.0480-38-9157

プローブ型透視度センサー

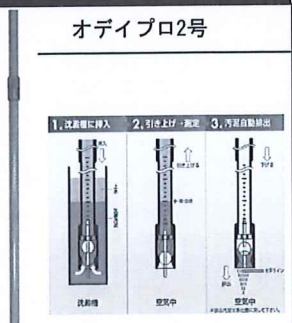
TP-10Z

目視式の透視度は環境の影響が大きい。
電子式は安定した測定を実現

測定範囲　：　2～200cm／0～2 Abs

汚泥厚測定器

オディプロ2号



比色試験器

アクアテスター、DPD試薬

1Z / 2Z シリーズ　(9段階測定)
7Z シリーズ　(10段階測定)

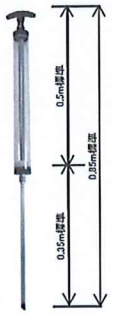
DPD残留塩素測定試薬

比色法、ニーズに対応、粉末分包試薬、
液体試薬をライナップ

粉末分包試薬

ピストン式採水器

ミズテッポ２号



1回で
500ml
採水OK!

深い所
狭い所
浅い場所の
採水OK！

テーパ付採水ノズル

その他の営業品目
濁度計、色度計
UV式COD計、導電率計
溶存酸素計、採水器

KRK 笠原理化工業株式会社　https://www.krkjpn.co.jp

〒340-0203　埼玉県久喜市桜田2丁目-133-8　TEL.0480-38-9151(代)　FAX.0480-38-9157

来賓一覧（国会議員）　（敬称略）

氏　名	所　属
石橋林太郎	衆議院議員（自民）
鈴木　貴子	衆議院議員（自民）
高市　早苗	衆議院議員（自民）
長谷川淳二	衆議院議員（自民）
細野　豪志	衆議院議員（自民）
宮内　秀樹	衆議院議員（自民）
東　　克哉	衆議院議員（立憲）
今井　雅人	衆議院議員（立憲）
枝野　幸男	衆議院議員（立憲）
大串　博志	衆議院議員（立憲）
川内　博史	衆議院議員（立憲）
川原田英世	衆議院議員（立憲）
小宮山泰子	衆議院議員（立憲）
佐藤　公治	衆議院議員（立憲）
階　　猛	衆議院議員（立憲）
末松　義規	衆議院議員（立憲）
高橋　　永	衆議院議員（立憲）

氏　名	所　属
馬場　雄基	衆議院議員（立憲）
福山　哲郎	参議院議員（立憲）
松田　　功	衆議院議員（立憲）
眞野　　哲	衆議院議員（立憲）
馬淵　澄夫	衆議院議員（立憲）
谷田川　元	衆議院議員（立憲）
山崎　　誠	衆議院議員（立憲）
横沢　高徳	参議院議員（立憲）
榛葉賀津也	参議院議員（国民）
鈴木　義弘	衆議院議員（国民）
仙田　晃宏	衆議院議員（国民）
玉木雄一郎	衆議院議員（国民）
古川　元久	衆議院議員（国民）
森　　洋介	衆議院議員（国民）
小池　　晃	参議院議員（共産）
鈴木　宗男	参議院議員（大地）

来賓一覧（省庁）　（敬称略）

氏　名	役　　職
角倉　一郎	環境省 環境再生・資源循環局 次長
松﨑　裕司	環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物適正処理推進課 課長

鈴木義弘衆議院議員
（国民）

川原田英世衆議院議員
（立憲）

角倉一郎次長
（環境省環境再生・資源循環局）

森洋介衆議院議員
（国民）

松﨑裕司課長
（環境省廃棄物適正処理推進課）

乾杯の発声で浄化槽の諸課題解決へ連携を呼びかける川内議員

立憲

一廃処理議連が第10回総会開く

消極姿勢質し、適正管理適正化へ議論

立憲民主党・一般廃棄物処理議員連盟（会長＝馬淵澄夫衆議院議員）は2月27日、衆議院第一議員会館で第10回総会を開催した（写真左上）。同議連の働きかけによって昨年度から実施することとなった浄化槽維持管理の実施率調査において、最新の令和5年度の結果においても改善が見られなかったことから、総会では改めて環境省の消極姿勢を質すとともに区域割り実施による清掃率の早期適正化、市町村における一般廃棄物処理計画の策定状況を踏まえた区域割りの必要性について論点を展開した。

冒頭で馬淵会長（写真左下）は「総勢85名が参加する当議連は我が党の中でも重要な位置づけとなった。本日は今国会の開会後、初の総会となり、環境省および全国環整連の皆様と一般廃棄物処理における課題について理解を深め、本格的な議論を進めまいりたい」と挨拶した。

次いで環境省から議連より受け取った事前質問への回答が行われた。内容は3項目で、まず毎年行うこととなった清掃実施率調査結果は全国平均64・1％（対前年度比0・5ポイント増）、昨年度「不明」と回答した200自治体は5団体まで減少したことを報告した。

一般廃棄物処理計画の策定状況に関する質問には、令和6年11月7日時点で一般廃棄物処理基本計画（5年ごと改定）が1703市町村、一般廃棄物処理実施計画（毎年度策定）が1533市町村と回答。策定していない市町村からは「人員等の体制不足」が理由として挙げられたという。環境省として策定に向けたフォローアップを行いつつ、計画に盛り込むべき内容としては「一般廃棄物の発生量および処理量の見込み」などとし、区域指定（区域割り）の考え方としては「区域を定めるかどうかは、それぞれの自治体において地域の実情に応じて判断されるもの。市町村における区域指定の有無で計画の対比は行っていない」との考えを示した。

また浄化槽の保守点検回数の把握状況に関する質問に対しては、「浄化槽法施行規則に規定されている回数以上に保守点検を行っているかどうかは把握していない」と答えつつ、「地域の自然・社会的条件に応じて規定回数以上に実施する場合がある。回数に応じて料金が増大するという単純な関係にはない」と付け加えた。

その後、意見交換が行われ、岐阜県等の浄化槽維持管理における先進県の例に照らした区域割りの有効性、清掃実施義務の違反に対する罰則の適用状況などが取り上げられたほか、一般廃棄物処理計画未策定の自治体に対する環境省の消極姿勢を厳しく批判する声もあった。

全国環整連の玉川福和会長からは、「区域割りによって料金に歯止めがかからなくなるという懸念があるかもしれないがそれは誤り。地域の一般廃棄物処理に携わってきた歴史的背景から見ても住民生活を無視した値上げはできない」「区域割りがないことで山間部等、経済的に不利な地域の収集運搬にまで責任を持たない、誰かがやるという意識になってしまっている。これが浄化槽の清掃率低迷にもつながっている」と意見があった。

一方、環境省からは「処理計画未策定自治体にはフォローアップを行う」「清掃実施率と区域割りの関連はない」と従前からの主張が繰り返された。

環整連

沼津市の青年部研修会に60名参加

デジタル化に向け講演や意見交換

全国環境整備事業協同組合連合会青年部（全国環整連、山本真太郎部長）は2月21日、静岡県沼津市のふじのくに千本松フォーラムプラサウェルデで令和6年度全国環整連青年部研修会を開催し、全国から約60名の青年部員が参集した。

冒頭で山本部長は、「先日、静岡県の浄化槽法改正では、都道府県知事、保健所設置市または特別区の長が浄化槽台帳の作成及び管理が義務化されたにもかかわらず、地域によっては数回データを収集したのみに終わるなど、現在も地域差が生まれている。このような状態が続けば、浄化槽による排水処理システムはでたらめなものと見なされてしまう。我々青年部員が中心となってデジタル化も含めまず自社の改革を行い、地域を変えてほしい」と挨拶した。

次に開催県の静岡県環境整備事業協同組合、飯塚理連、山本真太郎部長）は2青年部に所属しており多くのことを学び、その経験を活かし社業を営んでいます。ここにいるみなさんはこの業界の次代を担っていかなければならないため、互いに切磋琢磨し、絆を大切にしてください。」と挨拶した。

挨拶後は講演・討論会を開き、まず常葉大学の小川浩名誉教授が「浄化槽台帳の法的要件とデジタル化～なぜ、今まで整備が進まなかったか？」という演題のもと、講演を行った。下水道分野のさまざまな先進事例を紹介し、浄化槽分野でのデジタル化は必須であり、今後の浄化槽法改正でも盛り込まれる可能性が十分高いことを述べた。

また、現行の浄化槽法、5・25通知をもとに台帳に必要な項目を説明した。次に青年部員同士の討論会に移り、台帳作成に当たって各自治体での取り組みや障害となっていることを発表しあい、結びに山本部長は、「人口減少が進んでいる日本社会において、多額の費用がかかる下水道で汚水処理を進めることは不可能で、浄化槽への注目はさらに上がっていくだろう。今一度自分たちを引き締めて、デジタル化を通じ、適正な維持管理と良好な放流水質、そして台帳整備へと進めていこう」と述べ、閉会した。

衆議院

浅尾環境大臣が実態調査に言及

浄化槽保守点検回数について国会質問

予算委員会第六分科会が2月27日に開かれ、立憲民主党の川内博史衆議院議員（一般廃棄物処理議員連盟・会長代行）より浄化槽保守点検費用等の実態把握を進める必要性について質問があった。

川内議員は鹿児島県の種子島において、浄化槽の保守点検を年6回、約5万円要している事例を取り上げ、「通常であれば清掃は年1回、保守点検は年3回。また、作業内容もほとんど何もしていないという。必要以上の負担を強いているとするならば浄化槽法上の問題があるのではないか」と質問した。

環境省の角倉一郎環境再生・資源循環局長は「施行規則第6条において保守点検回数が規定されており、回数を超えることは違反ではない。ただし保守点検は技術上の基準に従って実施する必要がある。何もせず帰るような場合は違反の恐れがある」と回答。

また保守点検回数と料金に明確な比例関係はないとしつつも、「今後の浄化槽のあり方に関する懇談会（平成28年度）」における調査で保守点検費用の全国平均は1万6931円であると説明した。

川内議員は、種子島の事例が平均値より乖離していることを指摘しつつ、改めて実態調査をする必要があるのではないかと問いかけ、浅尾慶一郎環境大臣は「平成28年度調査から時間も経過しており、全国の保守点検等の実態把握について調査の方法を検討してまいりたい」と述べた。

環境省

浄化槽の維持管理実施率調査結果示す

清掃64％、保守点検74％と依然低迷

環境省はこのほど、浄化槽保守点検・清掃の令和5年度実施率調査結果を公表した。昨年度に続き2回目の調査で、保守点検は73・9％（対前年度比4・2ポイント増）、清掃は64・1％（同3・5ポイント増）だった。実施状況は維持管理業者からの報告・ヒアリングをベースとしているため正確性は必ずしも担保されていないが、昨年度に引き続き低迷したままであることが明らかになった。

内容としては前回同様、都道府県ごとに格差が大きく、清掃実施率は岐阜県で95・5％、鹿児島県で91・1％、宮崎県で85・2％などとなっているのに対し、長野県では28・2％、香川県では34・4％にとどまっている。

浄化槽法では浄化槽管理者に対して年1回以上の清掃と年3回以上の保守点検が義務づけられており（家庭用浄化槽の場合、違反した場合は罰金等の罰則も設けられている。浄化槽は定期的な維持管理を行わなければ性能を発揮できず、早急な改善が求められている。

都道府県名	保守点検実施率	清掃実施率
北海道	81.4%	71.2%
青森	79.3%	65.0%
岩手	88.6%	56.7%
宮城	92.1%	80.5%
秋田	82.2%	70.4%
山形	86.2%	80.5%
福島	72.8%	67.6%
茨城	57.7%	57.6%
栃木	65.2%	38.7%
群馬	91.8%	41.2%
埼玉	58.8%	56.7%
千葉	77.3%	53.2%
東京	50.0%	65.4%
神奈川	35.3%	57.7%
新潟	70.8%	61.0%
富山	85.1%	55.9%
石川	58.4%	50.5%
福井	57.5%	57.5%
山梨	49.5%	34.4%
長野	81.1%	28.2%
岐阜	94.4%	95.5%
静岡	88.8%	74.4%
愛知	62.7%	65.4%
三重	64.7%	63.5%
滋賀	75.3%	70.7%
京都	52.7%	47.6%
大阪	61.9%	74.1%
兵庫	59.7%	57.5%
奈良	43.7%	60.5%
和歌山	42.5%	67.0%
鳥取	85.3%	50.3%
島根	95.8%	82.6%
岡山	92.2%	82.3%
広島	76.6%	71.0%
山口	78.1%	77.2%
徳島	88.1%	62.0%
香川	92.4%	28.5%
愛媛	79.4%	50.3%
高知	73.1%	67.8%
福岡	75.1%	76.2%
佐賀	90.1%	78.5%
長崎	87.6%	79.0%
熊本	91.2%	83.4%
大分	75.8%	79.3%
宮崎	94.1%	85.2%
鹿児島	99.0%	91.1%
沖縄	18.2%	38.5%
合計	73.90%	64.10%

デジタル化導入支援実務研修会開く

岩環協　新春研修会に20社、46名参加

岩手県環境整備事業協同組合の新春研修会として2月14日、盛岡市内のホテルにて「デジタル化導入支援実務研修会」が開催された。岩手県では一昨年に続いて二回目の開催であったが、参加組合員数20社、46名の参加があった。

前半は関係法令について解説いただき法的根拠について再認識し、後半には電子カルテシステムについて映像を観ながら、また、体験版のソフトを実際に操作しながら、より臨場感を味わうことができた研修会であった。環境工学の担当者の方からもタブレット操作についての説明があり、二年前と比べて参加業者の反応も良かったと思われた。研修会終了後には、「新春懇話会」として、水処理委員会の橋本委員長以下講師3名も一緒に会員企業の参加者と懇親を深めた。

時代の流れに乗り遅れることのないよう、一社でも多くの導入を期待したい。